

第5回策定委員会 議事要旨

主な意見	対応の方向性（事務局回答等）
全体構想及び地域別構想（原案）について	
全体構想に関する事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・「幹線道路」、「骨格道路」、「幹線道路（骨格道路）」といった表現があるが、定義付けはされているのか。 ・内容が重複している場合、文言表現を含め整理いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既計画において「幹線道路」、「骨格道路」等の定義付けがなされている。 ・ご指摘を踏まえ、都市計画マスタープラン本編では、「都市の構造図」及び「道路交通体系の方針」を作成する予定である。この2箇所、幹線道路等の定義を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・廃校について、今後地区人口が増えた場合、廃校にした校舎を学校として使うという想定はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の人口は、現在の2万7千人くらいから2万人強へ、今後10年～20年かけて減っていく推計となっており、現状では、子供の数が増えることは想定されていない。何人が増えれば何に活用するというルールはない。 ・これを見越して、計画の策定や開発を検討していく必要がある。 ・廃校の利用方法は、今後検討していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の提示資料をみると、上野原市では、20年後には人口2万人になってしまうということが、前提となっているような感じがする。 ・これまで整理されている課題について、人口が増えることで解消されるものがあるならば、積極的に人口増に向けた施策を展開するべきではないか。 ・「少子高齢化・人口減少への対応」にかかる対策内容は、もう少し検討する余地があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少への対応が、「住宅整備」、「定住促進」だけではないと考えており、直接的、間接的に人口減少への対応になることについて項目の追加を含め、見直しを図る。
地域別構想（原案）に関する事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・四方津駅のバリアフリー化について、検討の範囲はどこまでか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四方津駅のバリアフリー化については、先月、上野原市交通バリアフリー基本構想策定協議会を立ち上げて、四方津駅だけでなく駅周辺のバリアフリー化の検討に入っている。 ・駅構内のバリアフリー化については、通常は段差解消がメインとなるため、プラットフォームの高低差解消は検討に含まれると考えている。 ・詳細な対応内容は、バリアフリーの構想の中で論議し、その後JRと協議の上、具体化されることになる。
<ul style="list-style-type: none"> ・コモアしおつについて、「災害時の代替ルートの確保」として、アクセス路線の検討とあるが、地域住民の中には、アクセス性が向上して、外部から車が入ってくことに消極的な意見もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクセス道路の検討」については、既計画にも記載されているため、本計画でも継続して記載する予定である。 ・コモアしおつへのアクセス道路は、1箇所だけである。基本的に2箇所以上のアクセス道路がある方が望ましい。 ・非常時の災害時の代替ルートの確保も含めて、継続して課題として取り組んでいきたい。

実現化方策（骨子）について	
実現化方策（骨子）に関する事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・「都市計画にかかわる事業の進捗管理の徹底」とあるが、都市計画にかかわる事業の定義を明確にし、都市計画マスタープランで進捗管理すべきなのか精査いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、内容を精査する。
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進会は、行政による体制等への支援といった仕組みが必要ではないか。 ・本都市計画マスタープランを受け、市としての支援体制はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の市の活性化や定住促進などについて、地域毎に取り組んでいるという先進事例をみながら、検討していく予定である。 ・実現化方策について、「既に地域で発足している組織の活用も含めて検討していく」といった内容の追加を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会について、これまで各地区において、それに相応する会を組織し、地域の祭り等を行ってきた。ただ、これまでの市の補助金だけでは、祭り以外にまちづくりに向けた活動を展開するのは難しい状況である。本提案をすぐに実行してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、内容を精査する。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・スマート IC が出来れば、上野原市は、東西に2箇所 IC を持つこととなる。 ・各 IC から降りた利用者に上野原市内でお金を落としてもらう方策を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘事項については、中部丘陵地域の課題として追加予定である。 ・その対応方針については、以下の通り整理している。 談合坂スマートIC予定地および周辺を利用した地域への流入促進、景観整備 スマートICへのアクセス路の整備

以上